

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 中村 清志

- I 開催年月日 令和 5 年 9 月 25 日（月）
- II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 51 分
- III 出席委員等〔出席委員〕◎中村 清志 ○田中 勝文 新開 広恵
出町 譲 埜田 悦子 林 貴文
本田 利麻 福井 直樹 金森 一郎
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕 中川 加津代
〔副議長〕 酒井 善広
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
（有栖地域振興交流課長が忌引きのため欠席）
〔委員外議員〕 なし
〔事務局職員〕 笹島 永吉 高嶋 史恵 吉本 昌史
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

議案第 50 号 令和 5 年度高岡市一般会計補正予算（第 3 号）のうち本委員会所管分

議案第 52 号 令和 5 年度高岡市駐車場事業会計補正予算（第 1 号）

議案第 55 号 令和 5 年度高岡市水道事業会計補正予算（第 1 号）

及び

議案第 61 号 高岡市営住宅条例の一部を改正する条例

以上、予算議案 3 件及び条例議案 1 件の計 4 件について、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【議案第 50 号のうち、高岡古城公園維持管理事業費について】

○ 高岡古城公園維持管理事業費について、シビックロードの歩道橋のエレベーター

を修繕するとのことだが、当該エレベーターの現状と、修繕を決断するに至った経緯は。

△ 当該エレベーターは、定期的を実施している保守点検において、部品の交換が必要と判断された箇所がある。また、一部の部品については、製造中止により令和5年度末までに供給停止となるものがある。このため所要の修繕を行うことで利用者の安全確保を図るため、このたびの補正予算を計上した。

○ 修繕した後の耐用年数は。

△ 使用頻度や使用条件にもよるが、部品の耐用年数は概ね20年程度である。

○ 高岡古城公園は市民の憩いの場であることから、安全に配慮の上、しっかりと修繕していただきたい。(要望)

○ 高岡古城公園樹木管理行動計画について、5年度は具体的にどの箇所から取り組むのか。

△ 小竹藪広場近くの梅林付近と本丸を結ぶ朝陽橋の周辺から取り組むこととしている。11月の中下旬から作業を開始したいと考えており、現在準備を進めているところである。

○ 計画期間は30年だが、1年でも早く伐採が進められるよう求める。(要望)

2 陳情について

陳情第9号 佐加野新町6班消雪設備維持管理継続の為使用電気料金の全額支援要請に関する陳情

陳情第9号は、佐加野新町6班の消雪設備の維持管理継続のために、設備稼働時の電気料金の全額を支援することを求めるものである。対象期間は今後毎年11月15日から翌3月15日までの4か月間であり、料金は年により変動するが、試算では約114,800円である。

審査の結果、全会一致で、不採択とすべきものと決した。

〈 討論における意見は次のとおり。 〉

・陳情第9号に反対の立場から

○ 佐加野新町6班の切実な思いは理解できるものの、他にも相当数の地域が、同様の状況にあてはまると思われる。私設で組合を作られ、大変苦勞しておられることは十分承知だが、市全体の問題であると考えことから、反対する。

○ 電気料金や燃料費が高騰しており、地域にとって相当の負担となっていることは理解しているが、市内にある他の多数の組合との均衡を図るためにも、反対する。ただし、今後、燃料費等の高騰の折には、本市としても何らかの支援を検討いただきたい思いもある。

3 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- (1) 令和5年度「高岡イノベーション推進事業補助金」採択事業者及び「高岡市チャレンジ新商品」認定事業者（4月24日～8月30日分）について
- (2) 高岡市地域おこし協力隊（魅力つなぎ人）の委嘱について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

4 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

5 その他

- ・ 次回の本委員会の開催について

令和5年10月18日（水）午前10時に開催することが報告された。

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【高岡おとぎの森公園のインクルーシブ遊具について】

- インクルーシブ遊具の設置について市民に喜ばれていると思うが、一部の市民からは、健常な子どもが使用しており障がいのある子どもの使用が後回しとなってしまう場合があるとの声も聞いた。そのような状況に対する本市としての対応があれば伺いたい。
- △ 令和4年4月に、くぼみのある円形盤のシートに乗って遊べる複数人乗りのブランコである「ウードルスイング」というインクルーシブ遊具を設置した。現状、本市としては特段の混乱は聞いていない。インクルーシブ遊具の趣旨を理解いただいた上で、思いやりの心を持って利用いただいているものと思っている。今後の施設整備においてもインクルーシブの要素を盛り込むこととしているが、同様に利用いただければと思っている。
- △ 誰もが差別なく使用できるという趣旨で設置しているが、我こそはと積極的に遊具を使用する子どももいるかもしれない。しかし、そういう状況も含め、遊びの中で思いやりの心などを学んでほしいという思いもある。目に余る危険な行動については別として、子どもの自主性に任せて、子どもたちがお互いに学んでいくことが大事だと思っており、重々配慮していきたい。

【観光庁の観光再始動事業を活用したインバウンド向けの情報発信について】

- インバウンド向けの情報発信を、どのような形で行っているのか。

△ 観光再始動事業は、インバウンド需要の回復に向けて、イベントなどの造成から販路開拓までを一貫して行うものである。国宝建造物と人間国宝の共演となる、人形浄瑠璃「文楽」の上演を令和5年11月28日に予定しているが、この件について海外旅行のオンラインの予約サイトにて、9月16日から海外向けに商品販売を開始した。この商品の販売とあわせて、特に訪日意欲の高い台湾の旅行客の方々を対象として、SNS等を活用し、高岡の主要な観光地などを掲載した魅力を伝える記事の配信なども行っている。また、先ほどの報告事項のとおり、10月から新たに地域おこし協力隊を委嘱するが、この方には国内外に向けたSNS発信もお願いしたいと考えている。このような取り組みを通じて、インバウンドも含めて、1人でも多くの方の来訪につなげていきたいと考えている。

○ 国宝建造物と人間国宝のコラボレーションによってインバウンドの関心を集めることや、魅力つなぎ人の協力をいただきながら取り組んでいくことを答弁いただいたが、9月30日から始まる勝興寺の企画展もあわせて発信していただきたい。ぜひインバウンド向けのノウハウを獲得され、次につなげていただきたい。（要望）

【プレミアム付商品券について】

○ プレミアム付商品券を販売すると聞いているが、現在の進捗状況は。

△ プレミアム付商品券は、市内4つの商業団体が発行する。一つ目の団体は高岡商工会議所で、販売申し込みは令和5年10月13日から開始され、使用期間は11月23日から来年1月14日までである。二つ目の団体は高岡市商工会で、事前申し込みは8月1日から、実際の販売は10月1日からであり、来年1月10日までの使用期間となっている。三つ目の団体は伏木・雨晴の商店街などである。こちらは8月10日から販売申し込みを行い、9月23日に実際に販売を行っており、11月30日までの使用期間となっている。最後の団体は、中心市街地の商店街などであり、10月1日から申し込みが開始され、10月14日から来年1月14日までの使用期間となる。

○ 物価高騰の中、買い控えによって消費は冷え込んでいる。家計が苦しい状況において、プレミアム付商品券は非常に効果があると期待している。ぜひ消費拡大・購入意欲向上につなげていただきたい。（要望）

【高岡まちなかスタートアップ支援施設TASUについて】

○ 令和5年9月の本会議にて、TASUにおける相談人数について触れられていたが、その数値は延べ人数なのか、実人数なのか。

△ 延べ人数であり、8月末までで292人となっている。なお、実人数は、8月末までで153人である。

○ そのうち実際に開業に繋がったのは、高岡駅地下にある飲食店の1件だが、当該店舗が開業するにあたって本市として補助はしたのか。補助したのであれば、その内容を伺いたい。

△ 高岡市賑わい集積開業等支援事業の補助金による支援をしている。この補助金は開業のための整備にかかる経費の2分の1を補助するものであり、上限は100万円

である。

- 当該店舗の開業以降、他にも具体的に形になりそうな事例はあるのか。
- △ 開業に繋がりそうな事例が数件ある。
- これまでの相談については、例えば飲食店に関する相談が多いなど、特色は見られるのか。
- △ 飲食以外にも、福祉、美容・理容、その他サービス業等があり、とりわけ相談の多い業種はない。
- T A S Uに関する令和5年度当初予算額を改めて確認したい。また、これまでの相談人数が延べ292人、開業が1件との実績について、予算に対する効果をどのように考えているのか。
- △ 当初予算として約2,500万円を計上している。K P I（重要業績評価指標）を定めており、6年度に年間のべ1,000件以上の相談対応や年間15人以上の起業・創業者の輩出という目標を掲げている。

【御旅屋人マーケットについて】

- 令和5年9月17日に開催した御旅屋人マーケットの実績は。
- △ 参加者数は約2,400人であった。出店者の売り上げについてはアンケートの集計中であるが、これまでの平均では、飲食店は1店舗あたり5万円前後、物販は1店舗あたり2万円前後となっている。

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- 。高岡地域地場産業センター開館40周年記念イベントの開催について

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【高岡地域地場産業センター開館40周年記念イベントについて】

- イベントでデビューする伝統産業アイドルとは、高岡で活動しておられる伝統産業の作家なのか。アイドルと伝統産業がどのように繋がるのかを伺いたい。
- △ 高岡地域地場産業センター内のスタジオを管理・運営している企業に所属しておられるタレントである。当該企業が地場産品をPRする中で、その一環としてアイドルを活用したPRもしていこうとデビューに至った。
- 後継者のなり手不足の解消や、若者へ伝統産業に関心を持ってもらうには、このような取り組みも効果があるのではと期待している。しっかり支援してほしい。（要望）

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（２８名）

産業振興部長	式 庄 寿 人	都市創造部長	赤 阪 忠 良
産業振興部次長	堺 啓 央	都市創造部次長	梶 本 敏 規
産業振興部次長	長 久 洋 樹	都市創造部次長	西 條 正 輝
産業振興部参事（兼務）	西 條 正 輝	都市創造部次長 都市計画課長	山 森 久 史
産業企画課長	今 方 順 哉	景観みどり課長	江 尻 典 世
商業雇用課長	中 川 正 人	道路整備課長	中 出 裕 嗣
観光交流課長	森 川 朋 子	土木維持課長	割 田 一 郎
農業水産課長	永 井 正 之	建築政策課長	氷 見 和 人
農地林務課長	横 山 太 一	営繕課長	井 林 哲 雄
みなと振興課長	車 忠 宏	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂 徳
地域振興交流課長	有 栖 友 広		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
農業委員会事務局長（併任）	堺 啓 央	上下水道局次長	五 十 里 康 夫
		上下水道局参事	川 渕 利 直
		総務課長	亀 岡 勝 彦
		営業課長	熊 本 敬 二
		水道工務課長	片 岡 利 行
		下水道工務課長	寺 井 義 則
		施設維持課長	高 林 隆